

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

神奈川県平塚市 平塚市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員 学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	29	対象	透し未訓方	救 臨 感 災 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
257,615	34,719	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

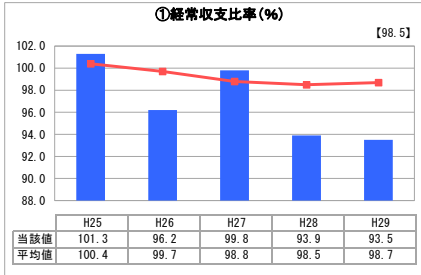
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
410	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	416
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
410	-	410

グラフ凡例

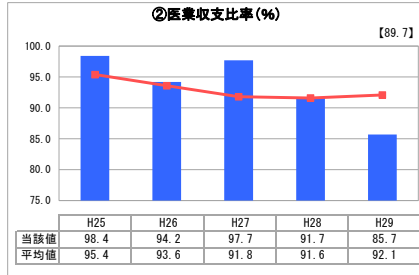
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 平成29年度全国平均

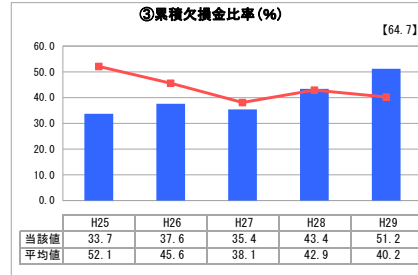
## 1. 経営の健全性・効率性



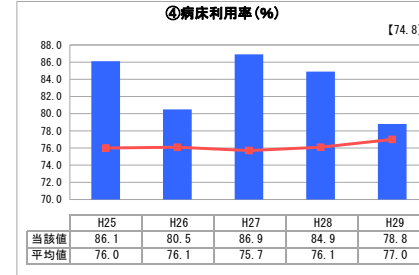
「経常損益」



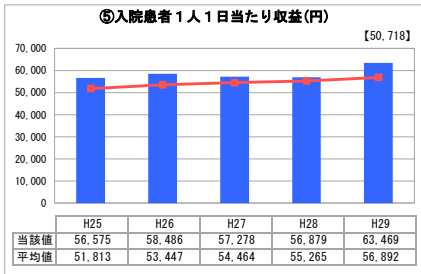
「医業損益」



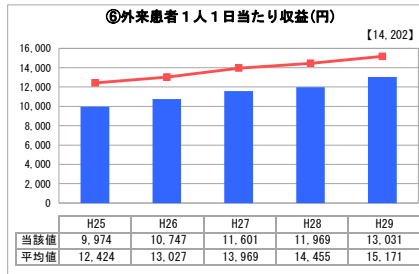
「累積欠損」



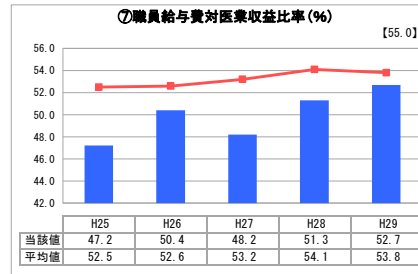
「施設の効率性」



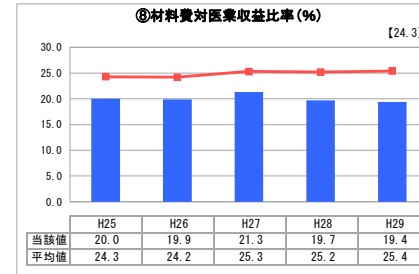
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

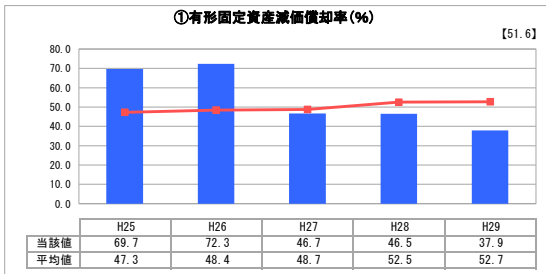


「費用の効率性①」

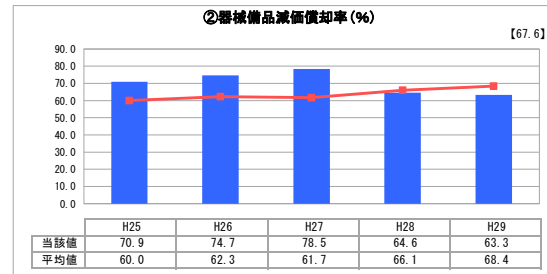


「費用の効率性②」

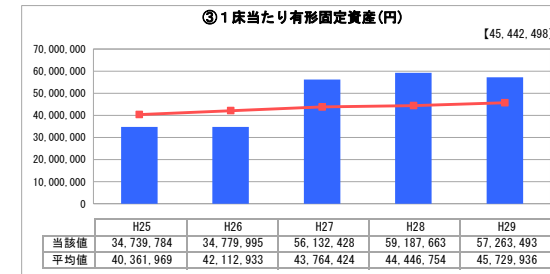
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「器械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

## I 地域において担っている役割

地域の中核病院として、高度医療・急性期医療及び政策的医療である小児・周産期医療を持続的に提供すると共に、救命救急センターとして「断らない救急」の実践のほか、地域の医療機関との連携及び役割分担の下、地域医療を支援します。また、臨床研修病院としての教育機関、がん診療連携病院、災害時の医療拠点病院としての役割を果たします。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

紹介・救急患者の増加や新たな施設基準の取得による加算の算定などの取り組みにより、入院患者1人1日当たり収益及び外来患者1人1日当たり収益が増加しています。これにより、医業収益は前年度より増加したものの、市民病院整備事業で建物を取り壊したことによる除却費を計上したことや、臨時職員等の増員による賃金等給与費が増加したことの影響により、経常収支、医業収支比率が低くなりました。改善のためには、入院患者数を増やし、費用抑制の取り組みが必要と考えます。

### 2. 老朽化の状況について

市民病院整備事業により、新館の建設、器械備品の更新を進め診療機能の高度化と診療体制の充実を図ったことにより、有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は、平均を下回っています。一方、建設投資をしたことにより、1床当たり有形固定資産は、平均を上回っています。

### 全体概括

今後も、新公立病院改革ガイドラインに基づき策定した市民病院将来構想の実現を目指して、収支のバランスを考慮し健全経営に取り組んでいきます。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。